

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川地区観光商業施設利用促進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	高橋茉莉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業						
事業の目的	歴史的建造物である当該施設を維持管理し、道の駅やお丸山公園などを含んだ周遊ルートを作成。喜連川市街地の活性化を図る。						
事業の概要	喜連川地区観光商業施設（笹屋別邸）の整備及び管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,855		3,502		4,521	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	来館者数	人	2,695	2,344	2,500	2,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	喜連川公方ひな祭りの開催することや、年間を通し利用者を受け入れることが出来たことによる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	観光PR事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	竹田実梨		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	各種イベントやマスコミへの露出を増やすことにより、市へ訪れる観光客を増加させる。						
事業の概要	県外で実施される観光キャンペーン等に参加し、PR活動を実施することで、観光客の誘客を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,919	3,611	5,509			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	マスコミへの露出件数	件	64	66	60	60
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	県外イベントなどに参加し、PR活動を行った。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	シティプロモーション事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	桑島 伸幸		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	市の魅力を市内外に発信する為の事業を実施し、交流人口、定住人口の増加を目指す						
事業の概要	効果的な事業を実施し、交流人口、定住人口の増加を目指す						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,468	6,394	6,706			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	年間観光客入込数	人	1,774,651	1,775,392	1,780,000	1,780,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	観光客入込数を増やすことができた。新聞掲載、SNSを積極的に発信し、市オリジナルグッズを作成・周知することで、さくら市の知名度を少しずつではあるが着実に上げることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	商工まつり支援事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	青木聖真		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	商店街の活性化及び市民による活気あるまちづくりを図ることを目的に開催する商工まつりへの援助を行う。						
事業の概要	氏家商工会及び喜連川商工会への事業費の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,500		6,000		7,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	商工まつり参加者数	人	52,500	42,500	50,000	50,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年度同様の内容で、きつれ川商工まつり、氏家商工まつりを開催することができたことによる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	暮市・花市開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	青木聖真		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	伝統行事が継承され、市街地ににぎわいを創出する。						
事業の概要	暮市・花市実行委員会への補助金。毎年、暮市、花市を各1回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	330	590	660			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	暮市・花市開催回数	回	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍を経ての実施であったが、市街地に賑わいを取り戻すことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種イベント開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	青木聖真		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	イベントを開催することにより観光客等が増加し、市内への交流人口の増加を図る。						
事業の概要	各種イベント開催・参加に伴う消耗品購入・PRチラシ作成・広告業務等の委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,782	1,642	4,663			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	観光客入込数（暦年）	人	1,774,651	1,775,392	2,100,000	2,100,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種イベントをコロナ禍前のように開催することが出来、観光客入込数は目標を達成することが出来た。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	フットゴルフによる地域魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	ニュースポーツであるフットゴルフを活用し、さくら市を「フットゴルフの聖地」とし県内外からプレーヤーが訪れ地域活性化に繋がる仕組みを構築することを目的とする。						
事業の概要	フットゴルフタウン推進委員会を中心に各種大会の開催、フットゴルフの普及啓発、フットゴルフフォーケーションの活用など様々な事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,000	2,000	1,500			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	フットゴルフイベント数	回	15	12	15	15
	成果	フットゴルフイベント参加者数	人	962	1,293	1,200	1,200
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	イベント数は横ばいであるものの、参加者数は順調に増加していることから、今後もこの状態を維持するよう年間活動を継続し、ワールドカップの再誘致に向けた取り組みを展開する。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	駅前交流拠点施設維持管理事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	竹田実梨		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	さくら市の玄関口である氏家駅前に設置された交流拠点を適正に維持管理し、市のPRを促進する。						
事業の概要	さくら市の魅力を発信するため整備した駅前交流拠点「さくらテラス」の管理運営業務。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,092		5,098		6,590	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	施設利用者数	人	45,464	39,715	30,000	30,000
	成果	観光客入込数	人	1,774,651	1,775,392	2,100,000	2,100,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	展示館での企画展（F1展示、企業展示、観光展示、さくらブランド展示等）を継続して実施するなど、施設利用者数は目標値を上回った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	総合交流ターミナル施設維持管理事業			事業開始年度	平成15年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	川俣智史		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	さくら市の情報発信の拠点施設として市の特産品や魅力情報を多くの来場者に発信する。						
事業の概要	(株)道の駅きつれがわを指定管理者と位置付け、道の駅きつれがわ総合交流ターミナル施設の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	119,797	75,677	86,164			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	道の駅きつれがわ来場者数	人	1,025,142	958,305	1,100,000	1,100,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種イベントの開催、滞留空間の整備により多少は減少したものの、現状維持となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉施設維持管理事業			事業開始年度	昭和57年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	福田幸史		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	温泉利用者に喜んでもらえる施設管理を、限られた経費の中で効率よく行い、市民にも、市外の利用者にも親しまれる温泉施設の運営を行う。						
事業の概要	市営温泉施設「もとゆ」「露天風呂」の管理運営全般及び観光温泉バスの運行について、（一財）さくら市観光施設管理協会を指定管理者として委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	54,030	37,093	38,241			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	温泉施設年間利用者数	人	234,404	211,436	245,000	245,000
	成果	指定管理料	千円	34,270	23,720	23,720	23,720
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	落雷被害による休館等もあったが、休館を最小限とし施設を運営することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉源泉維持管理事業			事業開始年度	昭和56年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	福田幸史		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	温泉源泉を常に稼働させ、各施設に温泉をスムーズに供給する。						
事業の概要	安定的に各施設に温泉を供給するため、温泉源泉供給関連施設の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	42,447	47,111	45,518			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	市で現に管理する源泉の数	-	3	3	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	工事、修繕等を速やかに行い円滑に温泉供給ができた。また、ポンプ故障により送湯が困難な際は、温泉宅配により営業を行い、休館を最小限にとどめることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	観光協会振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	川俣智史		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市のイメージアップを図り、年間を通して観光客を誘客し、地域の活性化を促すことを目的に活動する観光協会の活動を支援する。						
事業の概要	観光客の誘客や地域経済活性化のため市観光協会へ補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	35,774	42,636	55,478			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	マスコミ露出件数	件	27	20	20	20
	活動	観光協会主催事業数	件	16	14	20	20
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	例年どおりイベントを開催することができたが、観光協会事務員の減少により主催事業数は減少となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			